

## 市指定「初君歌碑」玉垣修復工事について

名 称：市指定文化財 記念物史跡「初君歌碑」

管 理 者：愛宕神社氏子会（長岡市寺泊磯町）

指定年月日：昭和 54 年 3 月 29 日

概 要：永仁 6 年（1298）、佐渡に流されることになった京都の歌人・藤原為兼が寺泊で 38 日間の風待ちをした際に、身の回りの世話をしたと伝えられる遊女初君にまつわる歌碑で、地元の有志により享和 2 年（1802）に建立された。為兼が佐渡に船出する時に初君が贈った「もの思ひ こしじの浦の 白浪も 立ちかへるならひ ありとこそきけ」の和歌が刻まれる。

玉垣は明治 30 年（1897）に設置されたもので、石柱が鉄製のパイプで連結されている。塩害による鉄製パイプの腐食が進み、石柱にも折れや亀裂が生じていたため、今年度愛宕神社氏子会が主体となって修復を行った。事業は令和 3 年 4 月 16 日に着手され、同年 5 月 31 日に完了した。

施  
工  
前



施  
工  
後



